ルーテル学院高等学校

芸術コース

音楽専攻/美術専攻

LUTHER SENIOR HIGH SCHOOL

School Guide 2024

自分の力を将来、
人のために使えるチカラに。

豊かな感性は一生の宝

本校は、1994年（平成6年）より本格的に音楽専攻・美術専攻の芸術コース入学者募集を開始しました。音楽専攻は優れた音楽家の育成を目標として、ソルフェージュ、音楽理論、音楽史などの音楽専門科目の授業を取り入れ、実践的な学習をしています。美術専攻は社会に貢献できる優れた美術作家、デザイナーの育成を目標として、生徒一人ひとりに対応した細やかな授業を実践しています。
音楽・美術ともに学校内外で発表の場を多く持ち、各種コンクール入賞・入選などの実績を残しています。また、卒業生の中からは国内外で活躍する演奏家や、芸術作家・デザイナーを輩出しています。同じ目的を持った仲間と共に芸術の世界を深く学んでみませんか。あなたの創造力、自己表現力は無限大の可能性を持っています。

CONTENTS

P1-2　芸術コースについて
P3-10　音楽専攻について
P11-18　美術専攻について
P19-20　ルーテル学院ならではの特色
P21　入学試験過去問題
P22　実技試験実施要項

教育目標

在校生にとって、入学して良かった学校
保護者にとって、選んで良かった学校
卒業して良かったと思える学校
私たちはこのような学校を目指しています

芸術コースの特長

難関芸術系大学
進学率県内ナンバーワン

有名難関芸術大学の入試倍率は極めて高く、現役での合格は難しいと言われています。そのような中、本校で学んだ生徒は芸術系有名大学へ多数進学し、活躍の場を広げています。本校卒業生の中から、大学首席卒業生となる者が多いのも特長です。

指定校推薦枠
県内多数保有

音楽専攻・美術専攻共に多数の指定校推薦枠を保有しており、高校卒業後も深く学べる環境づくりをしています。

▶ P9：音楽専攻推薦数
▶ P17：美術専攻推薦数

習熟度に合わせた
丁寧な教育

初級者から豊富な経験を持つ者まで幅広く専門的な学習ができます。私学である強みを生かし少人数だからこそできる一人ひとりに合わせた丁寧な指導を行い、将来必要とされる人材へと成長してくれることを目指します。卒業後の進路についてもサポートしています。

音楽専攻

整った環境で自己表現力を高め可能性を広げる

表現力と技術を身につけ想いを伝える

校では、幅広い教養と人間力とを兼ね備えた、魅力あふれる音楽家の育成を目指しています。そのために少人数制をとり、きめ細かな指導を行っています。3年間を通して、音楽を多角的に学び、幅広い視野とより高い技術を身に付けるカリキュラムを整えています。また、ピアノなどの実技については、高校入学後も中学校時代にレッスンを受けていた先生に継続して学び続けることができます。

このように、3年間同じ目的を持った仲間とともに音楽の世界を深めていける環境が整っています。

身につく能力

- 音楽の世界を深める力
- 思いを訴える音楽づくり
- 音楽を生かした進学の道をつくる基礎

授業内容

- 新曲視唱
- 合唱研究
- コールユーブンゲン
- 聴音
- 楽典
- 和声
- 音楽史

など

充実したカリキュラム

▸ 選択必修科目

	音楽Ⅰ
1年	2
2年	

▸ 芸術コース専門科目

	ソルフェージュⅠ	ソルフェージュⅡ	ソルフェージュⅢ	音楽理論Ⅰ	音楽理論Ⅱ	音楽史	鑑賞研究
1年	4						
2年		4		4			1
3年			4		4	1	

※年度によって変更させることがあります。
※芸術以外の科目については、本校パンフレットをご覧ください。

整った環境

ルーテル学院高等学校では、演奏力や表現力を養うための環境が整っています。

▸ 施設・設備・学校所有の楽器について

ピアノ練習室5室

・アップライトピアノ　3室
・グランドピアノ　2室
大学礼拝堂や中学高校礼拝堂、2つの音楽室（第1音楽室2台、第2音楽室2台）のグランドピアノも練習に使用できます。

※ピアノ専攻生徒にお勧めのピアノ…ヤマハCFⅢ（大学礼拝堂・500人収容のコンサートホール）
ヤマハC7（礼拝堂）
ヤマハS7（第2音楽室）
ヤマハS6（第1音楽室）

その他の所有楽器

・パイプオルガン（礼拝堂）
・電子オルガン　ヤマハ　ステージアELC-02（第1音楽室）
・マリンバ　コオロギ PF3000CC 5oct.（第1視聴覚室）
・チェンバロ　フレンチ二段 ﾑｼｭモデル（練習室）
・ヴィブラフォン　サイトウ VS-4000PS（第1視聴覚室）
・ティンパニ　ヤマハ TP-83　63台

チェンバロ

ヴィブラフォン

礼拝堂グランドピアノ（C7）

マリンバ

礼拝堂電子オルガン（ELS-02C）

第1音楽室電子オルガン（ELC-02）

ピアノ練習室

第2音楽室

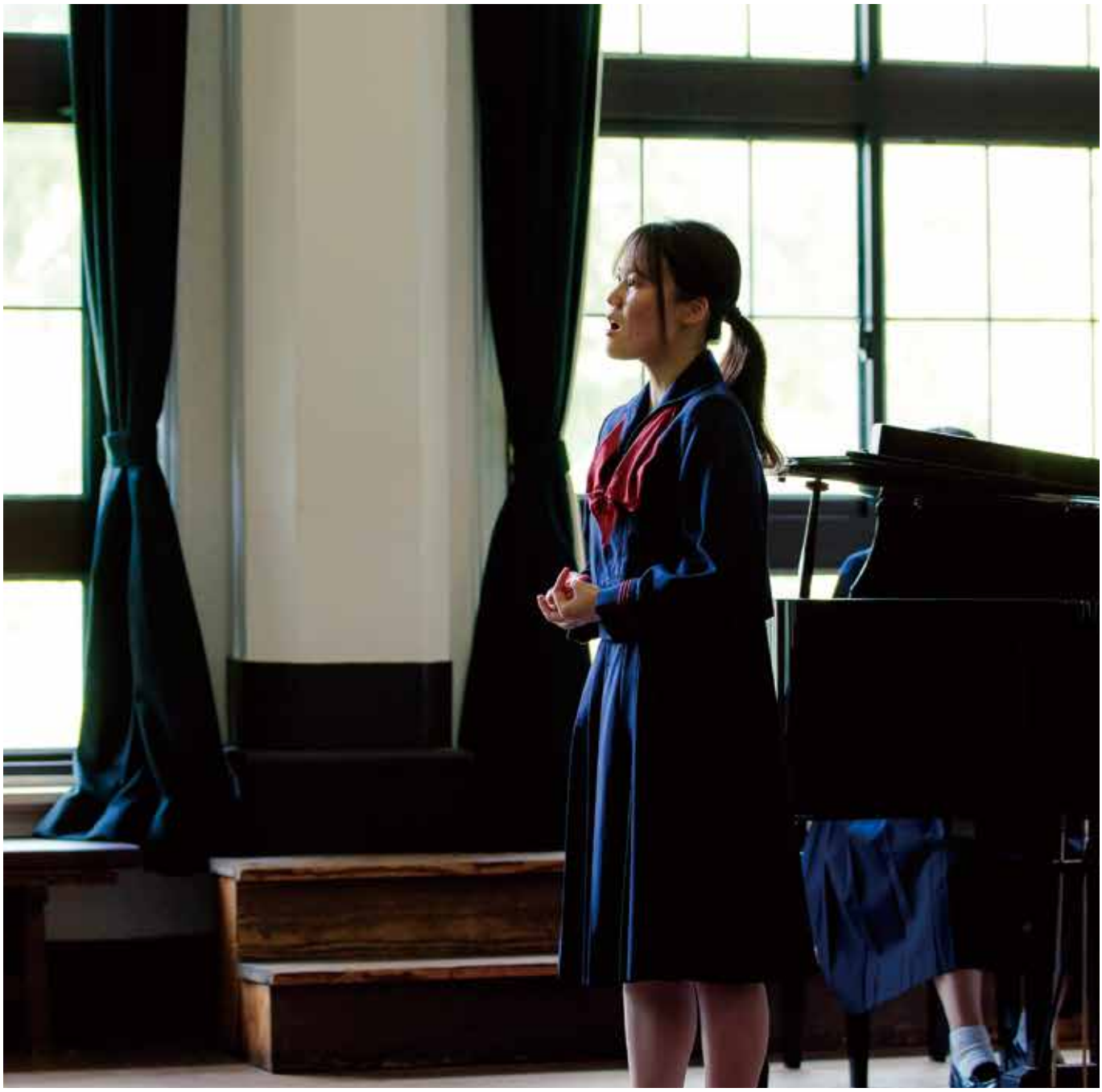
第1音楽室

在校生の声

音楽/声楽

3年　村井 洋幸さん　　山鹿中学校出身

私は歌うことが好きで音楽を始め、音楽をして生きていきたいと考えていたところ、ルーテル学院高等学校を知り進学しました。高校に入ってからの授業や周りの他の専攻の人との関わりはどれも新鮮で、そこから生まれる音楽性や感受性などは演奏活動をする上でとても大きいものだと思います。互いに切磋琢磨し、より良いものを作ろうとする、また、それができる環境が本校にはあります。他にも在学時の特技奨学生制度、充実した指定校推薦、優しく丁寧に教えてくださる先生方など、私はこの学校を選んで良かったと今思えています。今、音楽が好きな方、整った環境で自分自身の音楽を共に高めていきましょう。



行事予定

定期的にコンサート・演奏会などを実施しています。人前での演奏の機会は短期の目標となり、数多くの経験が演奏力・表現力の向上につながります。

01 音楽会

校内オーディションにて選出された生徒により、レベルの高い演奏を披露します。音楽系部活動の演奏も行われます。熊本県立劇場で行われます。

02 芸術コース演奏会

1年間の成果を発揮する場として、毎年3月に実施。会場の設営から演奏会の運営までを生徒たちが自ら行います。

03 主科・副科発表会

年に5回行われる主科・副科発表会は、生徒たちにとって日頃の練習の成果を発揮できる大切な場面であり、良い刺激となっています。人前で演奏する機会を多く持つことにより、演奏力の向上を目指します。

活動紹介

2022年度入賞実績

＜全国大会＞

第23回高校生のための歌曲コンクール		
第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール	【声楽部門】高校生の部	第2位
	【ピアノ部門】高校1年生の部	審査員賞
第44回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール	【声楽部門】高校生の部	奨励賞
	【フルート部門】高校3年生の部	入選
第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA	オンライン決勝大会	奨励賞
第56回カワイ音楽コンクール	連弾部門Aコース	銅賞

＜九州大会＞

JBAソロコンテスト	木管楽器部門(フルート)	銀賞

＜熊本県大会＞

第熊本県高等学校独唱コンクール		金賞
熊本県高等学校ピアノコンクール		金賞
熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール	木管楽器部門(オーボエ)	金賞(代表選考会優秀賞)
熊本県高等学校管打楽器独奏コンクール	木管楽器部門(フルート)	金賞(代表選考会優秀賞)2名他
ＪＢＡソロコンテスト	木管楽器部門(フルート)	金賞　3名他

＜全国大会＞

熊日学生音楽コンクール	独唱部門	優良賞 2名他
		奨励賞
	管打楽器部門	優良賞
	ピアノ部門	優秀賞
		奨励賞

卒業生の活躍

金子 凜音さん

国立音楽大学 演奏·創作学科
弦管打楽器専修 ユーフォニアム専攻 2年

2021年度本校芸術コース/音楽専攻を卒業

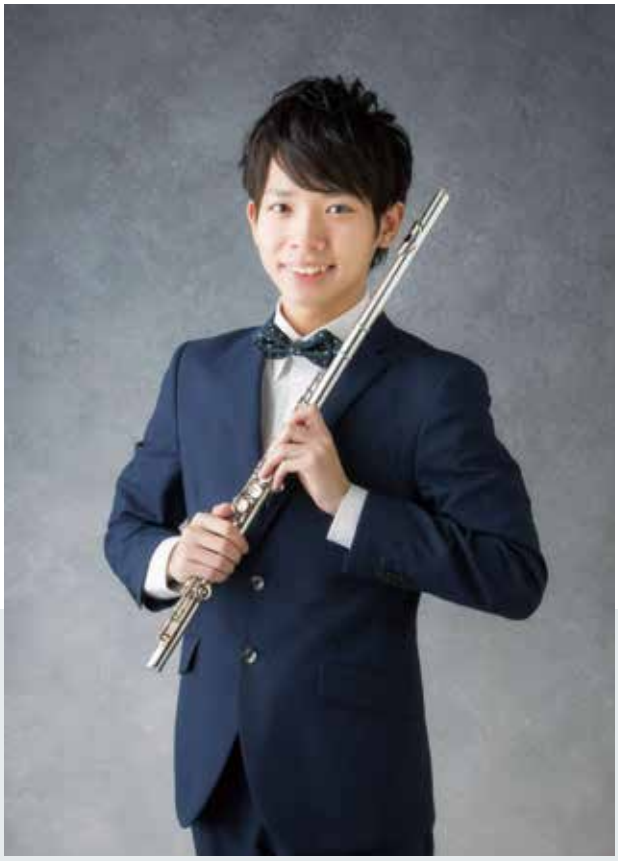
ルーテルは少人数制を取ったきめ細やかな学習指導、音楽に関する幅広い学習が可能です。
私が高校を選択する際に重視していた事は、音楽大学への進学、そのための基礎知識や音楽経験(演奏機会)を得られる環境があるかでした。音楽についての学びを深め、演奏技術と音楽表現を磨く。私の学びたい音楽·環境はここにある、とルーテル学院への進学を決意しました。高校在学中は、学院標語である「感恩奉仕」の精神と「音楽」を結びつけ考えることが多くありました。結果を求め自己満足で終わっていた中学生時代の音楽を、自分の演奏を聞いて下さっている方々に届けたい、誰かのためになる音楽をしたいと考え始めた頃から、私の音楽の世界観が広がりました。学校生活の中から、学生に多くの手掛かりを与えてくれるとても魅力的な学校です。

在学中の思い出

ルーテル学院では毎朝の礼拝が行われますが、その際に独奏や同級生·後輩(ピアノやマリンバ)の伴奏でユーフォニアムを演奏させて頂いたことです。座学の学びも大切ですが演者でもある私達にとって、人前で実際に演奏することもその後の音楽活動では重宝されると思います。このような小さな演奏機会がある事もルーテル学院の強みだと感じます。そして仲間の存在はとても大きかったです。主科·副科発表会など友人や他学年の演奏を聞く機会は多く、お互いを刺激し合い過ごす3年間は人間的にも成長できるとても大切な時間になりました。

役に立ったことや身に付いたこと

授業では楽典や新曲視唱、聴音などソルフェージュの基本から学ぶことができ、先生方の熱心なご指導により基礎を身につけることが出来ました。年に1回の「ルーテル学院音楽会」では校内オーディションによる合格者が熊本県立劇場のコンサートホールで演奏するという、学生にとっては夢のような行事があります。ただ演奏するだけではなく、ステージマナーの習得やステージマネージャーなどのお仕事を肌で感じることができる貴重な経験になります。
大学生になった今、高校での学びが繋がっていると感じる場面は多くあります。これからも「音楽と共に」成長し続けたいと思います。



松尾 凌汰さん

大津町立大津北中学校 教諭

平成音楽大学 音楽学部音楽学科管弦打楽コース（フルート専攻）卒業
2014年度 本校芸術コース/音楽専攻を卒業

子どもたちに音楽の魅力を伝える

小学校からの夢であった中学校音楽科教諭として勤務しています。子どもたちに音楽のよさや魅力を授業で発信し、音楽が大好きな子も苦手な子も楽しみながら学習できるよう、日々、教材研究の毎日です。音楽授業のみの関わりだけでなく、1年生の学級担任として、クラス経営も担っています。朝の会・給食・掃除・帰りの会・・・、それぞれの場面で子どもたちの成長をみることができます。もちろん、指導がうまくいかず悩むこともありますが、子どもたちと一緒になって、私自身も成長することができています。これからも、子どもたちに音楽の魅力を全力で発信していきます。

フルートとともに過ごした高校時代

「中学校音楽科教諭になりたい！」と誓って、芸術コースに入りました。まずは、音楽の基礎を身につけなければと思い、ソルフェージュや和声学の授業を真剣に頑張っていたのを記憶しています。ソルフェージュや和声学が自分の力になってくると、音楽表現の幅が広がり、専攻実技であるフルートの技術が向上していきました。年に数回実施される主科発表会では、切磋琢磨しあう友の演奏を聴き、自分の学びとしました。また、コンクールにも積極的にチャレンジすることで、本番での演奏の心構えを学び、自信をもって自分の音楽を表現することができるようになりました。

夢への架け橋となった大学時代

大学では、専攻実技であるフルートと教員免許取得のために、日々の講義・レッスンを積極的に取り組みました。また、施設への慰問演奏にも力を入れ、音楽を通してコミュニケーションの輪を広げることができました。講義・レッスン・合奏・重奏・・・、1日中、音楽と共に生活できる喜びを身体全体で感じることができました。貴重な4年間でしたが、私の夢への架け橋となった大学時代でした。

失敗を恐れず、何ごとにも全力でチャレンジ！

何をするにしても失敗はつきものです。失敗から学ぶこともたくさんあります。高校時代は、コンクールに何度もチャレンジしましたが、失敗の連続・・・落ち込むことも多々ありました。ですが、失敗から「次は、もっと音楽表現を工夫しよう」「自分の音楽に自信をもって表現しよう」という気持ちが湧きました。朝や放課後の時間、練習室で猛練習。練習した分、本番は自信をもって演奏することができ、結果を残すことができました。失敗を恐れず、何ごとにも全力でチャレンジすることで、長い戦いになりますが、得られる結果は大きいものです。今、中学校音楽科教諭として教壇に立ち、この言葉を子どもたちに伝え続けています。私も、まだまだチャレンジの連続ですが、音楽と共に成長していきます！

音楽専攻から広がる未来

進路実現への取り組み

1.指定校推薦枠

本校では卒業後に一層音楽を学びたいと希望する生徒の進路を実現するために下記に記載する学校のほか多数の指定校推薦数を有しています。

桐朋学園大学・国立音楽大学・武蔵野音楽大学・
昭和音楽大学・平成音楽大学　その他多数

2.進学指導

上級学校への進学には、現在、総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校/公募制）、一般選抜などがあります。難関音楽系大学でも、専攻によっては指定校推薦型選抜を受けることができる大学もあります。総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校/公募制）では専攻実技試験と志望理由書が必要になることが多く、それらの対応について指導をしています。いずれの入試に対しても対応できるように、過去の実績をもとに各大学との密接な関係を築いており、オープンキャンパスや講習会以外でも、学校見学や体験レッスンなどを受け入れていただいています。生徒本人が希望する進路のイメージを大切に、柔軟に対応しています。

進路実績

音楽専攻

専門分野である「声楽」「ピアノ」「管・弦・打楽器」等の技術向上だけではなく、大学進学を目指してソルフェージュや音楽理論をより深く勉強し、音楽の楽しみを伝えられる人材育成を目指しています。目指す進学先としては、難関国公立芸術大学や、有名私立音楽大学（桐朋学園大学、東京音楽大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学など）です。中には高校卒業後すぐに海外留学をする者もいます。また、音楽の知識を生かし、幼児教育や音楽療法の分野を目指す者もいます。

学校名	学部	学科	専攻/コース	19	20	21	22	23
東京藝術大学	音楽	声楽				1		1
		作曲				1		
国立音楽大学	音楽	演奏・創作	弦管打楽器専修				1	
	音楽		声楽専修					1
桐朋学園大学	音楽	演奏	フルート					
東京音楽大学	音楽	器楽	管・打楽器（サクソフォン）		1			
			管・打楽器（ホルン）	1				
			弦楽器（ヴァイオリン）			1		
武蔵野音楽大学	音楽	器楽	管楽器（トランペット）			1		
昭和音楽大学	音楽	芸術運営	音楽療法	1				
			音楽教養	1				
			アートマネジメント					
		音楽芸術表現	弦・管・打楽器演奏家Ⅰ（ヴァイオリン）					
			ピアノ演奏家					
			声楽					
洗足学園音楽大学	音楽	音楽	ピアノ	1				
			フルート	1				
			オーボエ					1
			打楽器	1			1	
			音楽環境創造				1	
			ジャズ					
			ミュージカル	1				
大阪芸術大学	音楽	音楽	音楽・音響デザイン	1				
		初等芸術教育	初等教育	1				
エリザベト音楽大学	音楽	演奏	鍵盤楽器	1		1		
活水女子大学	音楽	音楽	演奏表現（ユーフォニアム）		1			
平成音楽大学	音楽	音楽	ピアノ	2	1	1		1
			管弦打（フルート）					1
		こども		1	1			
鹿児島国際大学	国際文化	音楽	器楽（管弦打楽器演奏家・トロンボーン）					
大分県立芸術文化短大		音楽	器楽（ピアノ）	1	1			1
			声楽				1	
桐朋学園芸術短期大学			トロンボーン		1			

大学・専門学校卒業後の主な就職先

演奏家（フリー）/陸上自衛隊音楽隊/タレント（サンミュージック大阪）/楽曲制作・アーティストマネージャー等（フリー）/リトミック講師/音楽療法士/保育士/幼稚園教員/小学校教員/中学校教員/高等学校教員/特別支援学校教員/実技指導者（フリー・楽器店・音楽学校）/村松楽器販売株式会社/その他一般企業

音楽の魅力を伝える指導者たち

田川 美喜子 教諭

本校芸術コース卒業
武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業
洗足学園音楽大学大学院音楽研究科修了

熊本県高等学校声楽コンクール金賞。瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール出場。九州音楽コンクール声楽部門審査員特別賞。熊本県高等学校文化連盟文化功労者賞受賞など他多数。また、オペラ「魔笛」にダーメⅠ役、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」に眠りの精役で出演。出田敬三作曲オペラ「おてものバッテン嫁入り」のダイジェスト版でおても役として出演。第51回熊本県新人演奏会に出演。本校礼拝堂にて「花香る、初夏の調べ」と題し、本校のオルガニストである加藤麻衣子先生が演奏するパイプオルガンに合わせ、ソロや重唱の演奏会を行うなど演奏活動も積極的に行っている。

大津山 姿子 講師

本校芸術コース卒業
国立音楽大学音楽学部
教育音楽学科第Ⅱ類専攻卒業

国立音楽大学在学中より、リトミックを専攻し、卒業後は、ピアノ指導者として、また、大学を含む教育機関等での講義を通して後進の指導に当たりながら、音楽表現の研究を続けている。現在、熊本学園大学特任講師兼任、九州地区大学音楽教育会会員、ピティナピアノコンペティション全国大会審査員等各種コンクール審査員・アドバイザーを務める。

山本 祐歌 講師

本校芸術コース卒業
国立音楽大学音楽部
器楽学科ピアノ専攻卒業

熊本県高等学校ピアノコンクール金賞。
熊本県新人演奏会、RKKアトリウムコンサート出演。現在、ルーテル学院で教鞭をとる傍ら、器楽や声楽、ファミーユ・ヴォイス・アンサンブルの伴奏者として活動している。

吉井 恭子 講師

本校芸術コース卒業
活水女子大学音楽学部声楽学科から編入し、
ピアノ・オルガン学科卒業

現在、ルーテル学院で教鞭をとる傍ら、
ピアノや歌を通して子どもたちの音楽教育の育成に励んでいる。

美術専攻

個人の強みを生かし将来性を伸ばす

創造力を伸ばし将来に繋げる道をつくる

芸術コース美術専攻は社会に貢献できる優れた美術作家、デザイナーの育成を目標として定め、生徒一人ひとりに対応した細やかな授業を実施しています。県内美術系コース、および専門科を持つ高校の中で唯一デザインまたは絵画を専門科目として2年生より選択できます。進路実現に最も適した環境とカリキュラムを整え、生徒の将来進むべき道筋を照らし、生徒と先生が一丸となって進んでいきます。

芸術コース美術専攻専用の美術棟には、デッサン室、油彩室、デザイン室等大きく4つのアトリエスペースがあります。立体的で開放感があるアトリエは、創作活動を行う上で適した空間となっています。個別での指導や、専門の講師から教わることで個人の能力を伸ばし、将来の可能性を広げる授業を行っています。

身につく能力

- 自分の適性を伸ばす力
- 美術を生かした進路の道へ進む基礎づくり
- 将来の可能性の広がり

授業内容

- 絵画
- 色彩構成
- 素描
- クロッキー
- デザイン
- 進路に合わせた特別指導

など

充実したカリキュラム

▸ 選択必修科目

	美術Ⅰ
1年	2

▸ 芸術コース専門科目

	素描Ⅰ	素描Ⅱ	素描Ⅲ	絵画Ⅰ	絵画Ⅱ	絵画Ⅲ	構成Ⅰ	構成Ⅱ	デザイン	観賞研究
1年	1			1			2			
2年		3			4●			1	4●	1
3年			3			6○			6○	

※年度によって変更させることがあります。
※2年生以降は絵 教科です。
※芸術以外の科目については、本校パンフレットをご覧ください。

整った環境

ルーテル学院高等学校では、創造活動を行う上で適した環境が整っています。

美術研究所による特別授業

デッサン室

油彩室

デザイン室

受験に向けた個別指導

1年生には全員共通課題の制作を行います。自分の適性がどういうものか確認することを目的としています。2年生には絵画、デザインのいずれか一方を専門として選択し、個別指導により、進路に合わせた、より専門的な特別指導により、生徒の将来を見据えた授業を行います。

進路について考える

生徒一人ひとりに対応した細やかな進路指導を行っています。社会に貢献できる美術作家、デザイナーを目指し、年間数回、本校にて関東などの芸大･美大受験専門の美術研究所よりレクチャーを受ける機会もあります。自分の将来について、深く考える良い機会となっています。

在校生の声

絵画専攻／美術部部長

3年 工藤 麗実さん　西合志南中学校出身

美術専攻では、基礎的な技術から専門的な技術まで先生方の指導の下、しっかりと学ぶことができます。一年次から高い志を持って美術大学進学を目指し、同じ境遇の仲間と学んでいくことで、お互いを高め合いながら成長できる環境です。感性や表現力を磨き、社会で活躍できる芸術家を育んでいく場になります。

行事予定

定期的に、美術館見学を行っています。また、美術展に向けた創作や外部からの実技講習など数多くの創作経験が表現力の向上につながります。

01 芸術コース美術展

展示会へ向けた、短期目標の設定により、創作活動に張り合いと計画性をもたらします。

02 予備校特別講義

関東で有力な芸大美大受験予備校、研究所のうち複数校からの実技講習や作品講評、大学入試分析などのレクチャーを受講できる機会を設けています。

E

C

B

B

D

B

B

A

F

D

生徒作品

A 東京藝術大学合格者作品
B 多摩美術大学合格者作品
C 武蔵野美術大学合格者作品
D 東京造形大学合格者作品
E 女子美術大学合格者作品
F 筑波大学合格者作品

美術専攻入選実績（過去5年間）

◆2018年度
・くまもと「描く力」2018／優秀賞
・くまもと「描く力」2018／入選
・カードアート大賞展2018／準大賞

◆2019年度
・高校生国際美術展／奨励賞
・くまもと「描く力」2019／チャレンジ部門 特選2席
・くまもと「描く力」2019／チャレンジ部門 入選
・カードアート大賞展2019／準大賞

◆2020年度
・高校生国際美術展／実行委員会名誉会長賞
・高校生国際美術展／佳作
・カードアート大賞展2020／大賞

◆2021年度
・カードアート大賞展2020／大賞
・絵画コンテスト（台湾の画家による審査）／第2位

◆2022年度
・くまもと「描く力」2019／チャレンジ部門 特選２席
・くまもと「描く力」2019／チャレンジ部門 優秀賞
・くまもと「描く力」2019／チャレンジ部門 入選
・カードアート大賞展2019／準大賞

美術の部 高校生国際美術展
実行委員会名誉会長賞
松田 里菜（2020年度卒）

絵画コンテスト
（台湾の画家による審査）
第2位　髙田 剛伸（2022年度卒）

卒業生の活躍

有水 悠斗さん

武蔵野美術大学造形学部
視覚伝達デザイン学科1年在籍

2023年本校芸術コース/美術専攻卒業

ルーテルの芸術コースを選んだ理由

中学の頃から将来的に芸術分野に携わりたいと考えていたので、ルーテル学院の芸術コース美術専攻進学を決めました。中学3年生で参加したオープンスクールにて、自分の作品を添削していただいた際に、細やかな、良い意味で峻厳なコメントを頂いて、ここなら自分の力を伸ばせるだろうと強く思ったのを覚えています。また、先生方からの美術専攻卒業生の進学実績のお話や、進路へのアドバイスも参考になりました。芸術分野の進路について不安を抱える人は、1度芸術に精通した人に意見を仰ぐべきと思います。一言で締めくくれないほど芸術分野は幅が広いので、やりたい事を明確にする上でも必要だと思います。

受験時代の作品

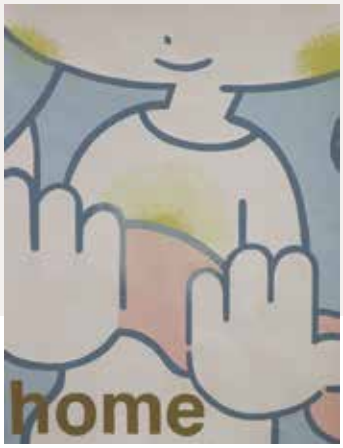
在学中の思い出

放課後になるとみんな美術棟に集まっていました。それほど居心地の良い場所でした。放課後集まってクロッキーをしたり、小さなコミュニティですが、先生方が鎹となり、親睦の深い関係を築ける素敵な場所でした。

高校1年次の自画像作品

美術大学進学を目指した理由

ある会社への就職を目標に、武蔵野美術大学への進学を決めました。実績、カリキュラム、講師陣の分厚さが決め手です。高校在学中は油絵を専攻していましたが、改めて進路を見つめ直し、3年の夏頃にデザイン科への進路変更をしました。難しい選択ではありましたが、先生方も献身的にサポートして下さって、合格に繋げることが出来ました。現在東京で大学生活を送っていますが、日々学びに溢れ、充実しています。進路決定を控える皆さんは、自分にとって善い選択が出来る事をお祈りしています。



受験時代の作品

酒井 千明さん

東京藝術大学大学院 美術研究科
絵画専攻壁画第二研究室在籍

2017年度 本校芸術コース/美術専攻を卒業
2019年度 東京藝術大学 絵画科 油画専攻入学
2023年度 東京藝術大学 絵画科 油画専攻卒業

大学（藝大）に進学してよかったこと

私は二年間予備校に通い東京藝大へ進学しました。東京藝大は全国から美術を志す同世代の人達が集まっており、考え方や感覚が様々で作品も多様である事が面白いと思いました。また、東京には沢山の美術館やギャラリーがあり、常に新しく変わっていく環境から影響を受ける日々でした。そういった刺激を受け、自分自身が成長できる場所だと感じました。地元を離れることで地元の事を考える様になり、自分の育った環境が作品にも繋がっていると思うので、それを通して私は何なのか何をしたいのかを考えるきっかけにもなりました。大学は幅広く制作出来る環境がある為、常に挑戦できることが楽しくて良かったです。

ルーテル学院を選んだ理由

中学の時に通っていた画塾でルーテル学院高校に芸術コース美術専攻がある事を知りました。小さい頃から絵を描くことが好きだったので、美術がしっかり学べる高校へ行きたいと思い受験しました。私は通い始めて本校の魅力を知りました。まずは美術棟の存在です。一つの建物に絵を描く所、絵を学ぶ所が広々とゆったりあり、とても楽しく有意義な空間でした。次に先生方の美術大学のお話や、作品制作等の実体験エピソードがとても面白く刺激を受けました。私の知らない世界が沢山あって美術や作品に対しての意識が変化しました。毎日美術棟へ通うことがとても楽しかったです。そんな日々があったから私は今も絵を描き続けていると思うので、ルーテル学院高校の芸術コースで美術を学べて良かったです。

高校2年次の自画像作品

美術を志す中三生に向けてのメッセージ

中学生の頃は、大学のことは何も知らないし、将来のことも考えていませんでした。ただ、絵を描くことが好きで、その時間が多くあるルーテル学院高校を目指しました。好きなこと楽しいことを続けていくのは簡単ではありません。だからこそ本気で頑張れるとも思うので、みなさんもこれからも楽しい時間を続ける為に頑張ってほしいと思います。

美術専攻から広がる未来

進路実現への取り組み

1.指定校推薦数

本校では卒業後に一層美術を学びたいと希望する生徒の進路を実現するために下記に記載する学校のほか多数の指定校推薦数を有しています。

東京造形大学(2名)・女子美術大学(11名)・名古屋芸術大学・京都精華大学・崇城大学　他多数

2.進学指導

上級学校への進学には、現在総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校/公募制)、一般選抜などがあります。難関美術系大学では一般選抜が中心となっています。総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校/公募制)では作品ファイルや志望理由書が必要になることがほとんどです。いずれの入試に対しても対応できるようにクロッキー制作をはじめ、普段の課題を設定しています。必要があれば美術研究所と連携して合格に近づくことができるよう丁寧な指導を心掛けています。生徒本人の志望する進路に柔軟に対応しています。

進路実績

美術専攻

有名難関美術大学の入試倍率は極めて高く、現役での合格は難しいと言われています。その中でも主要大学とされる東京藝術大学、愛知県立芸術大学、首都圏主要4美大(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学)に合格した本校生徒の平均浪人年数は0.63年という驚異的な数値を残しています。(1997年以降)また、上記の大学には現在まで、22年連続で現役合格者を出し続けています。

学校名	学部	学科	専攻/コース	19	20	21	22	23
東京藝術大学	美術	絵画	油画専攻	1		1		
武蔵野美術大学	造形	油絵	油絵専攻				1	
		視覚伝達デザイン						1
		基礎デザイン			1			1
		工芸工業デザイン						1
		デザイン情報			1			
多摩美術大学	美術	絵画	油画専攻	1		1	1	2
		生産デザイン	プロダクトデザイン専攻	1				
		総合デザイン			1		1	
		工芸				1		
東京造形大学	造形	美術	絵画専攻				1	1
		デザイン	テキスタイルデザイン					2
			室内建築					1
			グラフィックデザイン		1	1		
女子美術大学	芸術	美術	洋画	1	1	1	1	
		工芸	工芸			1		
		ヴィジュアルデザイン		1	2	1		
崇城大学	芸術	美術	洋画	1	2			
			日本画		1			
		デザイン			1			
			3Dアートコース				1	
筑波大学	芸術専門学群						1	
長岡造形大学	造形	美術・工芸		1				
佐賀大学	地域芸術デザイン				2			

大学・専門学校卒業後の主な就職先

電通/㈱パルコスペースシステムズ/モンペル/ナンバーワンデザインオフィス/株式会社日本テレビアート(日本テレビグループ)多摩美術大学助手/サンスター文具株式会社/ジュノー株式会社/ケーアールケープロデュース株式会社/株式会社Francfranc/スタジオ雲雀/Bauhaus-Universitat Weimar(ドイツ)/フリーランスイラストレーター/フリーランスデザイナー/スノーピーク

卒業後の留学先

Dresden Academy of Fine Arts(ドイツ)
Hochschule fur kunste Bremen(ドイツ)

美術の魅力を伝える指導者たち

石村 桂輔 教諭

東京藝術大学 美術学部絵画科
油画専攻卒業
同大学院修了
修了制作
大和銀行(現りそな銀行)買い上げ

熊本県立第二高等学校美術科入学後、制作活動を始める。
東京藝術大学在学中から芸大・美大受験指導に携わり、東京の美大受験予備校にて油絵科講師としての経験を持つ。

1995年	3人展　ギャラリー8(東京:高田馬場)
1996年	同上
1997年	個展　ビストロ水主(東京:板橋)
1998年	個展　サンベアー(東京:板橋)
1999年	個展　ギャラリーU(東京:目黒)
2000年	個展　Keyギャラリー(東京:銀座)
2001年	個展　ビストロ水主(東京:板橋)
2002年	第21回「国際インパクトアートフェスティバル」(京都)
2004年	3人展　上通郵便局ギャラリー
2005年	ビエンナーレKUMAMOTO入選
2006年	ビエンナーレKUMAMOTOⅡ入選
2007年	辺の会展(熊本:くまもと阪神画廊)
2008年	辺の会展(熊本:くまもと阪神画廊) (熊本:ギャラリー・カフェ・トト)
2009年	辺の会展(熊本:崇城大学ギャラリー)
2011年	辺の会展(熊本:熊本県立美術館分館) 辺の会展最終回(熊本:熊本県立美術館分館)
2014年	くまもと「描く力」2014入選
2018年	辺の会 ふたたび…2018 (熊本:崇城大学ギャラリー)

橋本 尚 教諭

武蔵野美術大学
造形学部 油絵学科卒業

熊本県立第二高等学校美術科入学後、制作活動を始める。武蔵野美術大学では、故・前田常作に指導を受ける。在学中より博物館展示用模型、映画撮影用プロップの制作を手がける。ルーテル学院80週年記念改修工事においてカラーコーディネーションを担当した。日本美術家連盟会員。

1992年	グループ展(武蔵野美術大学)
1994年	グループ展(東京藝術大学)
1995年	3人展　フタバ画廊　上通郵便局ギャラリー
1998年	辺の会展(福岡:福岡市美術館)
2001年	武蔵野美術大学校友会
2003年	熊本支部展新人賞
2004年	辺の会展(熊本:くまもと阪神画廊)
2005年	辺の会展(熊本:くまもと阪神画廊) (熊本:ギャラリー・カフェ・トト)
2006年	辺の会展(熊本:熊本県立美術館分館)
2007年	辺の会ドローイング展
2008年	(熊本:ギャラリー・カフェ・トト)
2009年	辺の会展(熊本:崇城大学ギャラリー)
2011年	辺の会展最終回(熊本:熊本県立美術館分館)
2018年	辺の会ふたたび…2018(熊本:崇城大学ギャラリー

門田 奈々 講師

東京藝術大学 美術学部
デザイン科卒業

岐阜県立加納高等学校美術科卒業後、東京藝術大学卒業後、広告制作会社を経て現在画家として活動。
また、イラストレーターとして新聞・雑誌などの挿絵や本の装画、グッズのイラスト提供等で活動している。

2004年	東京藝術大学美術学部デザイン学科卒業
2011年	個展 門田奈々展 – Le monde de nana – 銀座三越百貨店
2013年	個展門田奈々洋画展 – et nana – 日本橋三越本店 二人展 / 鶴屋百貨店
2014年	Heart Art in Tokyo　新人賞　国立新美術館 第6回お菓子の香梅アートアワード奨励賞
2016年	ART APART FAIR Singapore
2021年	門田奈々 河野里沙 2人展/ ART SPACEはね
2022年	個展「門田奈々展 NATURAL」 Shun ART Gallery Tokyo 他、個展・グループ展、多数

ルーテル学院ならではの特色

1.ヨーロッパ研修旅行（隔年希望制）

ウィーン（オーストリア）、ローマ（イタリア）等を6泊8日で研修します。芸術コースだけの研修旅行で、具体的には、チケット入手が困難なウィーン国立歌劇場でのオペラ鑑賞を行ったり、教科書に載っている名画の数々を直接鑑賞したりする研修です。

2.学校からの補助

以下のコンクールにおいて、セレクションを通過して九州大会・全国大会に参加する場合、参加費・遠征費の全部または一部が支給されます。

- 高等学校文化連盟主催の各種コンクール
- 全日本学生音楽コンクール
- ピティナ・ピアノコンペティション
- その他、芸術科において認められたコンクール

3.奨学制度（学力・芸術奨学生）について

入学試験の結果によって、奨学資格A・B・Cを与えることがあります。
A・B奨学生については、毎年、年度末の審査を経て、次年度の奨学資格の有無が決定されます。

	入学金90,000円	授業料
A	40,000円 免除	授業料相当額の全額を支給
B	40,000円 免除	授業料相当額の全額を支給
C	40,000円 免除	

授業料相当額とは、授業料より就学支援金を差し引いた額をいいます。
校納金については募集要項をご覧ください。

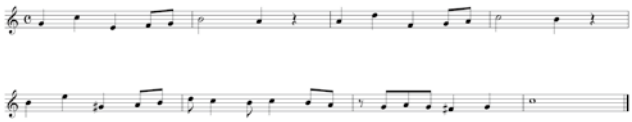
筆記試験の成績により与えられる奨学生（学力）と、実技試験により芸術実技の力を認めて与えられる奨学生（芸術）があります。奨学生（芸術）の場合は前年までの個人実技の実績、または入試（専願・奨学）の実技力においてきわめて優秀と認められる場合に与えられます。入学時に該当しない場合も入学後の実績次第では次の学年で奨学資格を得ることができます。なお、奨学生（学力）と奨学生（芸術）の資格は同時に取得することはできません。奨学生の資格は単年度審査となっています。

芸術の
存在意義の1つは
社会貢献である。

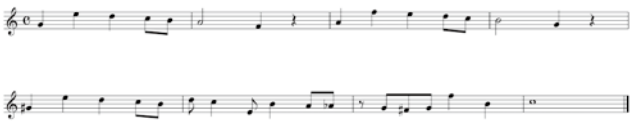
入学試験過去問題

音楽専攻

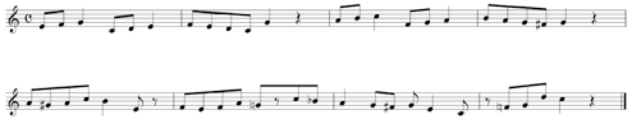
1. 聴 音　2023年度 専願・奨学



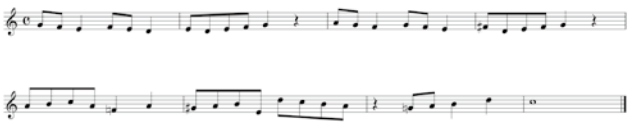
2. 聴 音　2023年度 一般



3. 新曲視唱　2023年度 専願・奨学



4. 新曲視唱　2023年度 一般



Point

聴 音	「専願・奨学」「一般」ともに8分音符までの音符と休符を使用しています。休符があるのかないのかをしっかりと聴き分けてください。
新曲視唱	聴音同様、8分音符までの音符と休符を使用しています。フレーズの終わりの音符の長さに気をつけてください。

美術専攻

1. 実技試験　2023年度 専願・奨学

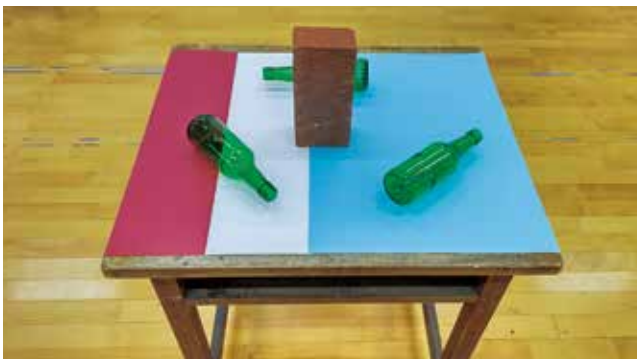
机上にセットされたモチーフを水彩絵の具と鉛筆によって表現しなさい。

Point

スチロールブロックの比率、立体感とそれぞれのモチーフの質の描き分けが大事です。

2. 実技試験　2023年度 一般

机上にセットされたモチーフを水彩絵の具と鉛筆によって表現しなさい。



Point

それぞれのモチーフの質感描写、特に緑の瓶の透明感や映り込みの描写が大事です。

美術専攻の実技試験の内容はB3の画用紙（タテ・ヨコ自由）に、与えられた条件に従って鉛筆および水彩絵の具によって表現するものです。日頃から時間内に完成できるような練習をしておくことをお勧めします。表現の方法については、鉛筆を主体とした淡彩あるいは色彩を重視した表現などがありますが、固定観念を持たずに自由に表現してください。

実技試験実施要項

募集定員

音楽専攻・美術専攻　合計約40名（音楽専攻 約20名・美術専攻 約20名）

実技試験

学力試験（国数英3教科）終了後に行います。

音楽専攻

(1) オリエンテーション	筆記試験終了後
(2) 専攻実技	13:15～
(3) 聴音	実技終了後
(4) 新曲視唱	聴音終了後
(5) 集団面接（専願受験生のみ実施）	新曲視唱終了後

※詳細な時間は当日提示
※昼食は各自持参してください。

美術専攻

(1) オリエンテーション	筆記試験終了後
(2) 実技	13:15～
(3) 集団面接（専願受験生のみ実施）	実技終了後

※詳細な時間は当日提示
※上履き持参
※昼食は各自持参してください。

試験内容

音楽専攻

1）専攻実技（演奏は暗譜のこと）

（ア）ピアノ専攻
現在の実力が分かる曲を1曲演奏すること。（ピアノソロ曲に限る。また緩除楽章および変奏曲除く）

（イ）管弦打楽器専攻
楽器演奏は無伴奏で行うこと。
楽器は受験者が準備すること。但しマリンバは、KOROGI PF3000CC（5オクターブ）を本校にて準備する。

（ウ）声楽専攻
伴奏者用楽譜（写し）を出願時に提出すること。（ピアノ伴奏者は本校で準備する）

（エ）電子オルガン
ヤマハステージアカスタムELC-02を本校で準備する。

2）共通課題（適性検査程度）

（ア）簡単な旋律聴音（ハ長調・8小節）
（イ）簡単な新曲視唱（ハ長調・8小節）

美術専攻

水彩画（B3画用紙）
所要時間3時間

【備考】
※水彩用具一式、鉛筆、消し具は各自用意すること。
ただし、ポスターカラーおよびアクリル絵具は不可。
※用紙・画板は本校で準備する。

試験会場

ルーテル学院高等学校

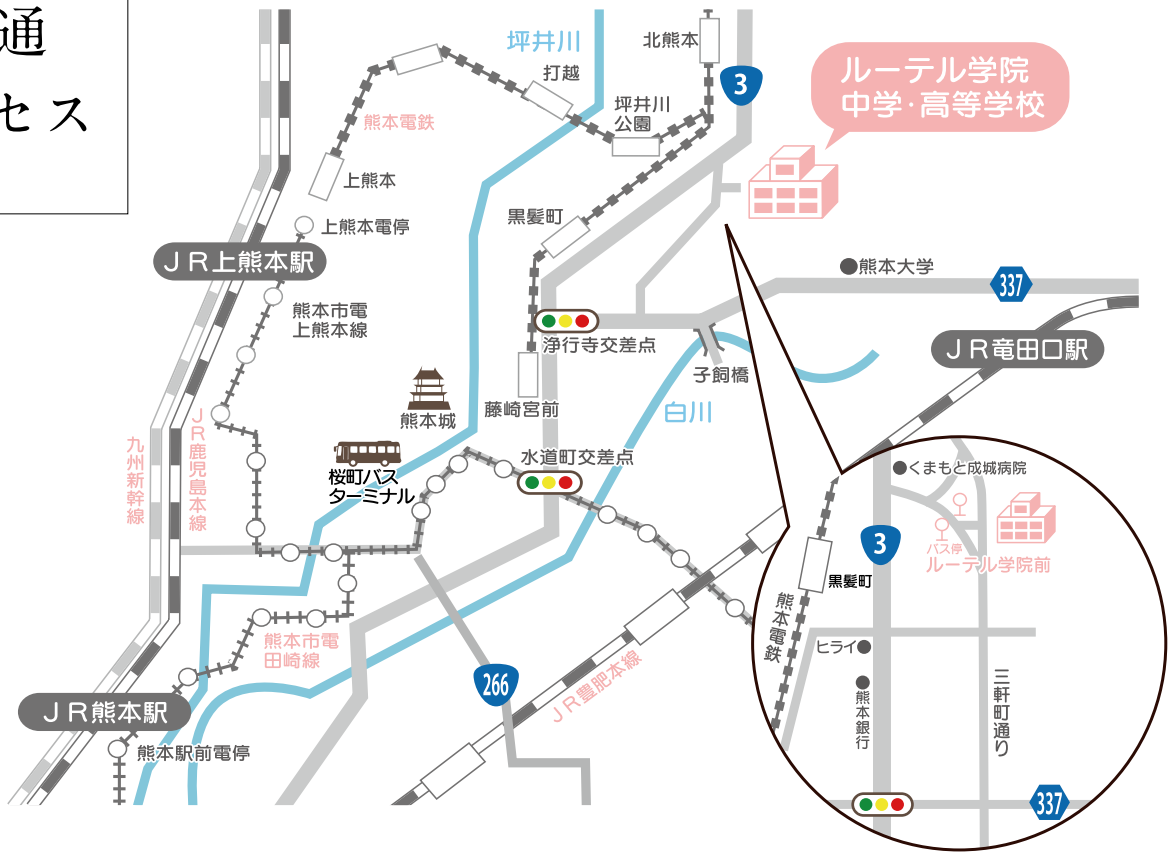
音楽専攻	3号館　第1, 2音楽室
美術専攻	美術棟

［実技試験についての問い合わせ先］
音楽科：常定・田川　美術科：石村・橋本

TEL：096-343-3246

※さらに詳しい情報はホームページをご覧ください。 http//www.luther.ed.jp/hs/admission4.html　TOP>入試・入学情報>芸術コース入試

交通アクセス



JR熊本駅

- 駅前（白川口）より電鉄バス三軒町経由[C5-3・C5-4・C5-5・C5-6・C9-1・C9-2・C9-4・C9-5]に乗りルーテル学院前下車（所要約30分）
- 駅前（白川口）より健軍町行き市電に乗り水道町下車、電鉄バス三軒町経由[C4系統・C5系統・C6系統・C7系統・C9系統]に乗り換え、ルーテル学院前下車（所要約40分）

JR上熊本駅

- 駅前より熊本都市バス第1環状線または熊本都市バス昭和町行き[F4系統]に乗り浄行寺下車、電鉄バス（三軒町経由）に乗り換えルーテル学院前下車（所要約25分）
- 駅前（上熊本駅前）から熊本電鉄菊池線に乗り坪井川公園駅下車、徒歩で本学（所要約15分）

桜町バスターミナル

- 電鉄バス[C4系統・C5系統・C6系統・C7系統・C9系統]に乗りルーテル学院前下車（所要約15分）

自動車/福岡方面

- 九州自動車道（植木IC）を下り、国道3号線を熊本市中心部方面に約12km、室園交差点から斜め左に進み電鉄バス・ルーテル学院前バス停まで（所要約30分）

［お知らせ］
オープンキャンパスなどの公開イベントの情報に関しては、学校ホームページをご覧ください。

ルーテル学院高等学校

100年の祈りを未来のチカラに
2026年ルーテル学院は創立100周年を迎えます

〒860-8520 熊本市中央区黒髪3-12-16　TEL(096) 343-3246　FAX(096) 343-3455　http://www.luther.ed.jp/hs/

ルーテル学院中学校　九州ルーテル学院大学　認定こども園 ルーテル学院幼稚園